

Rotary Club of Satte Chuo



2022-2023年度RIテーマ
イマジン・ロータリー
IMAGINE ROTARY



会長 池田 岩夫 事務所；埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内
幹事 張ヶ代宜広 〒340-0156 TEL&FAX 0480-44-0056
例会日；火曜日19：30～20：30 例会場；G-Five 1階会議室

国際ロータリー会長
ジェニファー E.ジョーンズ氏(カナダ)

第2770地区 ガバナー
細淵雅邦氏(浦和RC)

2022年10月4日 火曜日
第1107回例会 No.10

[開会]

[開会点鐘]

[国歌・ロータリーソング斉唱]

君が代／奉仕の理想

[ロータリーの目的唱和]

[四つのテスト唱和]

[ビジター紹介]

国際ロータリー第2770

地区ガバナー
細淵雅邦様

第7グループガバナー補佐
小林達郎様



地区副幹事 杉山空光様



10月誕生日・・・井上 亮会員、細淵雅邦ガバナー



[会長挨拶] 池田 岩夫会長

皆さんこんばんは。本日はお待ちかね、細淵ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です。

先ほど事前に事務所において、今年度及び次年度の会長幹事に小林ガバナー補佐の臨席いただき、懇談会を開催させていただきました。ガバナーは、私よりも10歳若いにもかかわらず、明るく気さくに接していただき、ざっくばらんな人柄を感じさせていただきました。これからの時間でガバナーの考え方、RIのジェニファー会長の方針及び細淵ガバナーの地区運営方針の詳細な説明と解説をいただき、私たち会員の理解、行動の指針を得たいと考えます。本例会を有効で、充実したものとして楽しみましょう。



[結婚月・誕生月のお祝い]

10月結婚月・・・池田岩夫会員、金子卓司会員



[幹事報告] 張ヶ代宜広幹事

・クラシックカーラリーゴールイベント
開催のお知らせ

10月23日(日)11:00~17:00

さいたま市営桜木駐車場

・緊急オンラインレポート「人類の未来」2022.10.15の資料が届きました。

・競馬観戦例会開催について注意事項があります。

- 1.マスク着用をお願いします。
- 2.手洗い、手指消毒をこまめをお願いします。
- 3.ドレスコードを守って下さい。特にスニーカーでの入室は不可
- 4.来賓室への飲食物の持込不可

資料確認は事務局までお願いします。



ってくれたのでそれを絵にしました。

さて、改めましてガバナーの細淵雅邦です。

自己紹介から皆さんにお話しさせていただきます。

生まれも育ちも埼玉県さいたま市(旧浦和市)です。

駅でいえば武蔵浦和です。550年前から住んでおります。

ロータリーの入会・・・2012年10月19日

今年10月でちょうど10年目

地域地元の活動は全くしておりませんでした。

それまでは、ボートというスポーツをしておりました。

2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピックの2大会にボートチームの監督として参加しておりました。

ボートの日本代表監督を10年以上務めました。ボートという競技はもともとヨーロッパが中心です。その10年間は年間100日ほどヨーロッパでトレーニング・キャンプ、

そしてワールドカップ等の転戦をしていました。2008年の北京オリンピックが終わり、日本代表監督が終わり

したので、スポーツはこれでしばらく終わりにしようと思

いました。そこに2016年のオリンピック・パラリンピックに立候補する動きが出てきました。そしてその招致活

動の手伝いをする事になりましたが、残念なことに2016年はブラジル・リオデジャネイロに決まりました。即日、2020年に立候補することになり、再度招致委員会

を立ち上げました。自分自身も2020にむけて招致活動に入りました。そして、2013年9月にブエノスアイレスにおいて東京2020が決まりました。自分がロータリーに入

った翌年のことです。オリンピックが決まった以上スポーツ人生最後に賭けたいと思いました。そんな自分

に対して2つの大きなハードルがありました。一つ目は自分がオリンピックに向っているにも拘らず、浦和ロータリークラブの会長に就く話がありましたが、オリンピックに向っている自分に大きな所帯を預かるのは難しいのでお断りしました。が、結局2017年7月から2018年

6月まで浦和ロータリークラブ会長を務めました。人生での大きな山2つのうち、もう一つの山が同時にありました。それは国際ボート連盟の理事として迎え入れるというお話しでした。東京大会に向けての選択肢が2つ

ありました。組織委員会に入って、開催国としてオリンピックを運営する立場が一つ。もう一つはIOCのボート競技としてオリンピックに関わる立場が2つ目。結果としては、国際ボート連盟の競技の方の担当者として東

[ガバナーから事務局へプレゼント贈呈]

日頃、幸手中央ロータリークラブのロータリー活動に關しまして本当にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げたいと思います。ガバナーからというよりも私個人としてハンカチを用意してきましたのでお受け取り下さい。これからも増々頑張っていただきたいと思



[本日の例会]ガバナー卓話

国際ロータリー第2770地区

ガバナー 細淵雅邦様

皆さん、こんばんは。先ず今、事務局のお二人にハンカチをご用意いたしました。ロータリーの会員として事務局の方には

毎日頃非常にお世話になっておりますことを一会員として感じております。今年度は74クラブの事務局の皆さんに感謝の気持ちを込めて、ガバナー公式訪問の

時にお礼を申し上げます。そのハンカチですが、自分の似顔絵が出てきます。ジェニファー・ジョーンズさんカラーのフクロウの刺繍がしてあります。自分のあだ

名がフクロウだったので会社のスタッフが Mascot を作



京大会を支えるという立場になりました。

今、スポーツの世界は男女が平等になっています。全世界に24名理事がいる中で男性12名・女性12名となっています。2017年1月から着任しました。ポートの世界はヨーロッパが拠点です。浦和ロータリークラブの会長職を務めながら拠点はヨーロッパにありましたので、一年間、浦和ロータリークラブの例会は金曜日の昼。例会終了後10分後には会場を出まして勤務先に戻り、14時から18時くらいまで勤務をします。その後、帰宅し家族で食事をとります。そのあとすぐに羽田に向かいます。コロナ前は毎週金曜日夜中12時から1時くらいのフライトでフランクフルト空港に早朝5時半から6時に到着します。空港についてしまえばあとの移動は簡単です。金曜日の例会に出たあと翌朝にはヨーロッパに居ます。土曜日・日曜日と会議・ワールドカップ等々に参加して、日曜夜のフランクフルト発の便で日本に帰ります。こんな生活を繰り返していました。18年6月、浦和ロータリークラブの会長職を無事に終えることが出来ました。しばらくロータリー活動はお休みさせていただこうと考えていました。そこへ、人生大きなはずらが待ち受けていました。それは、先輩方がガバナーに推してくれたことです。3人の先輩からいろいろと説得されました。最終的にガバナーになることを決断しました。決断の理由は、今までの人生においてスポーツを通じて人と人との対話、人と関わること、お互いに学ぶこと、そして自分が成長するという生き方を送ってきた自分にとってロータリークラブの人生、ガバナーでも自分で学び、これからも成長したいということを最後の判断にしました。ガバナーになる準備、オリンピック・パラリンピックの準備でまるでブルドーザーのように前に前に進みました。そこに最後の人生のいたずらがありました。2020年3月、東京都、日本国政府、IOCは新型コロナ感染症の影響でオリンピック・パラリンピックを1年延期する決断をしました。昨年2021年7月23日、多くの日本国民の皆さんのご支援とご理解でコロナ禍のなか無事にオリンピック・パラリンピックを開催することが出来ました。本当にありがとうございました。7月8日、オリンピックを全力で迎えました。8月9日、パラリンピックも全力で迎えました。全て終わり、ガバナーになるまでに1年を切りました。頭をロータリーに切り替えてガバナーになる準備をしようと思っていたところに2028年のロサン

ゼルスオリンピックに向けて、2020東京大会をレビューし、レガシーをまとめることになりました。そして今、レガシーをまとめているところです。

レガシーとは・・・、3つ話をします。オリンピック28競技+東京大会5競技 合計33競技でした、その競技を開催する会場は、新設の会場あり、改修した会場もあり、多くの予算を使ってもらいました。これらの会場を将来有効に活用すること。これが1つ目のレガシー。2つ目のレガシーは1964年夏季大会、2020(2021)年に開催したオリンピック。この後はいつ開催されるかわからないオリンピック・パラリンピックをコロナ禍の中 無事に開催することが出来た運営ノウハウの継承。3つめは、参加した選手、コーチ、監督、家族、支えた人、観た人、運営した人、関わった人すべてが将来のスポーツに対して夢を託すことが東京大会のレガシーだと思えます。と、纏めました。そのあとももっと深堀してみました。そして最終的にオリンピック・パラリンピックのレガシーは、人そのものであり、人と人のかかわり、学ぶこと、人間力を高めることが出来る場である。まさにこのことがオリンピック・パラリンピックのレガシーである。あらためて今、纏めました。

ロータリーの会員として日々奉仕活動をし、日々親睦活動をし、そして例会に参加して、ロータリークラブこそ学びの場であり、人間力を高める場であると思っています。ロータリークラブを通じて人間力を高める。オリンピック・パラリンピックを通じて人間力を高める。レガシーをまとめている気が付きました。どちらも人間力を高める場であると。

今日、幸手中央ロータリークラブの公式訪問でこれからRIの話、地区運営方針の話をするのですが、それ以上に是非、こちらにお伺いして2つのことを言っていたと頭の隅に入れて残していただければと思います。



さて、これからロータリーの話に移っていきます。

国際ロータリー第2770地区
2022～2023年度

ガバナー公式訪問



ガバナー 細瀬 雅邦

2022～23年度会長

ジェニファー E. ジョーンズ



2022-2023年度地区運営方針



創造しよう未来への調和
ーロータリーにDEIの爽やかな風をー

ロータリーに入り、自分の人生はとても充実している。
ロータリーに入り、かけがえのない友人をえることができる。
ロータリーに入り、人のため、社会のために役立つことができる。



人間力を高め 生き方のモチベーションをあげ ゆたかな人生を創造できる、
それがロータリークラブではないでしょうか



夢を持ち、将来へ、未来にむけて、行動するかどうか、を決めるのは自分自身です

ロータリアン一人一人の 驚い想い、そして、クラブの 熱い想い、です

創造
Imagination

想像から創造へ

未来
Future

未来にむけて行動



ロータリー創設者ポール・ハリス

「ロータリーは、あらゆる職業や地位、あらゆる国、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。ロータリーの才知と栄光は、まさにここにあります。ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、二つの点で完璧に調和しています」

ー1933年の第24回国際大会より

目覚ましい速さで物事が進む激動の嵐の中で、今日、ロータリーは、多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れることを最優先に運営されつつあります。

1923年採択：決議23-34の1
ロータリーの根本は、利己と利他の心を上手く調和させる「超我の奉仕」という人生哲学。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

2770地区は、想像する未来に向け、2500名のロータリアンのモチベーション向上、そして、74のクラブの活性化の支援を最優先にインクルージョン（調和）を目指します

- D 出合い
- E エンジョイ
- I いい、奉仕

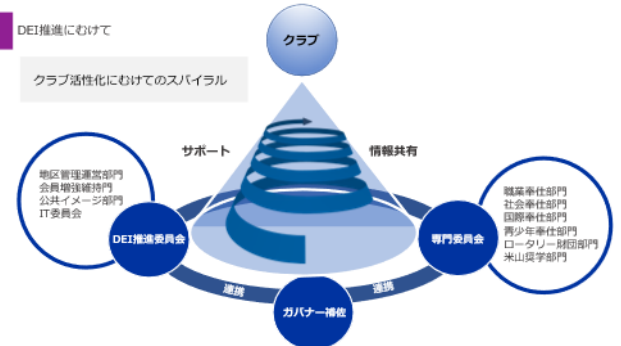
新しい出合いを求め、
エンジョイ、
そして、奉仕の理念で結ばれ、チャレンジ、

- D Diversity (多様性)
- E Equity (公平さ)
- I Inclusion (インクルージョン)

ロータリアンのモチベーション向上、
クラブの活性化、
ロータリーを元気にする活動へむけた支援のための行動計画

- DEI推進にむけて
- クラブ活性化にむけて 地区からクラブへ
- クラブ活性化にむけて 各クラブから発信

ロータリークラブの主役はクラブです。
クラブの主人公は、ロータリーの会員一人一人です。



クラブ活性化にむけて、地区からクラブへ

クラブと地区との対話（コミュニケーション）を大切にいたします

- DEI推進委員会
- DEIの推進
 - 会員増強維持
 - クラブ活性化にむけての情報交換
 - 実行計画立案、調整と準備

- 専門委員会
- 奉仕の実施に向けた情報共有
 - 青少年、米山、財団についてはプログラムの目的や促進についてのご説明、事例のご案内、申請支援

クラブとの連携強化のためにガバナー補佐との積極的な連携強化を進めていきます

調和
Harmony

時代はDE and I

ロータリークラブのDEI

DEIの爽やかな風を

想像から創造へ
具体的な行動計画

クラブ活性化にむけて、各クラブからの発信

2770地区の全てのクラブの全ての皆様に積極的に奉仕活動にかかわっていただく
真の対話：共に感動を共有し、共に喜び、共に実践する
 奉仕活動をグループ毎に実施、発表を地区大会で行う予定です



今年の地区大会は2770地区 2500名の一人一人のみなさまが主役です、皆様のサポートをいただき2770地区らしい、地区大会にしたいと考えます

2770地区はロータリーの主役である

創始の心に思いを馳せ、次の四半世紀に羽ばたく

あなたのクラブの活動をサポートいたします



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルージョン(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると認識しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、職業、社会経済的立場、文化、結婚状況、使用言語、性別、性的傾向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップをも含む、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の貢献を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持つようなインクルージョンな文化を築くことに尽力します。

多様性と公平なロータリーの価値観に賛い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)に関する旅程において組織として自分たちがどこにいるのかを正確かつ透明性をもって認識するとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

2022-23年度年次目標



優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ボランティアを動員し、ロータリーの役割を拡大する。
2. 2025年までに拠出基金を2000万ドルとし、年次基金がボイオプラスへの寄付を増やす。
3. 特にロータリー-ボイオプラス分野において、新たなパートナーシップを築き、両分野で成果を上げていくクラブ、地区、国際プログラムおよびグローバルにスポットライトを当てる。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. 新メンバーを歓迎し、目的に基づき行動する人びと、世界を変えようとする行動者としてロータリーの国際的な立場を向上させる。
2. 新しく革新的なクラブや参加を促す経路を新設し、奨励させる。

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 個人が成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を認め、ロータリーの中核的価値観を支える会員の参加意欲を向上させる。
2. 特にロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブのすべての参加者の組織を強化する。

優先事項4「達成力を高める」の目標

1. パートナーシップのつながりの活用を支援・奨励し、対面式の会合、研修、ファンディング、奉仕プロジェクトを最適化する。
2. ロータリーファミリーのすべてのリーダーシップレベルで多様性、公平さ、インクルージョンの実現できるよう取り組みを強化する。
3. ロータリーの奉仕責任およびボイオプラスリーダーシップの機会を促進し、技能を高め、責任および説明責任の期待をより明確にする。

ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
 そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ボイオプラスまでと一歩のところまで来たロータリーは、次の課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす。世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

- | | |
|---|---|
| <p>より大きなインパクトをもたらす</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイオプラスを奨励し、両者 多様な機会を活用する ロータリーのプログラムおよびローターアクトを奨励する 活動成果を上げ、それを奨励する | <p>参加者の基盤を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な参加者の基盤を築き、多様化する ロータリーへの新しい経路を開拓する ロータリーの開放性とアピール力を高める インパクトとブランドに対する認知度を高める |
| <p>参加者の積極的なかわりを促す</p> <ul style="list-style-type: none"> クラブが会員の積極的な参加を促すよう支援する 研修を提供するため、参加者中心のプログラムを開発する 個人と、職業的なつながりを含め、新たな機会を提供する リーダーシップ育成およびボイオプラスの機会を提供する | <p>達成力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究と革新、および個人でリソースを共有することへの意思を奨励する文化を築く ガバナンス、構造、プロセスを合理化する 意思決定における多様な考え方を奨励するために、ボイオプラスを見直す |

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不變なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を選び、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

国際ロータリー第2770地区 組織図



[出席報告]

	会員数	出席免除	出席者数	MU	出席者数計	出席率
本日の例会	20	2	15	5	20	111.11%
前回の例会	19	4	11	0	11	73.33%
前々回の例会	19	4	15	2	17	113.33%

[スマイルボックス報告]

●細淵雅邦様(浦和 RC)

幸手中央ロータリークラブの皆様、今日はよろしくお願ひします。

●杉山空光様(浦和 RC)

幸手中央ロータリークラブの皆様、本日はよろしくお願ひします。

●井上 亮会員

細淵ガバナー、本日はようこそいらっしゃいませ。

私今月 67 歳です、早いもので！

阪神タイガース 3 位でクライマックスシリーズ進出！
 誕生祝いとなりました。

●大橋秀樹会員

妻はニュースに出て、もしかして週刊誌取材などが来て、私まで巻き添えでいろいろバラされませんように！

●中田盛夫会員

自転車から落車して、肋骨にヒビが入りました。夫婦間にもヒビが入らぬよう気を付けます。

●菅野秀光会員

細淵ガバナー、小林ガバナー補佐、杉山副幹事、よう

こそ。昨日は久々の歩いてのゴルフを地区ゴルフコンペでしました。疲れしました。

●八木泰典会員

細淵ガバナー、杉山副幹事、小林ガバナー補佐、ようこそお越しくできました。

●石橋久充会員

細淵ガバナー、杉山地区副幹事、小林ガバナー補佐 ようこそ！

●張ヶ代宜広会員

細淵ガバナー、杉山地区副幹事、小林ガバナー補佐、ようこそ！

●金子桐絵会員

ロータリアンになって6年目を迎えました。幸手中央ロータリーの美しい紅一点として若い女性が入会するまで輝いていける様、大橋先生の奥様の様に日々筋トレに励みます！！

●村上 覚会員

細淵ガバナー、ようこそお越しくできました。ありがとうございます。

●石井 明会員

細淵ガバナー、小林ガバナー補佐、杉山副幹事、幸手中央 RC によろこそ。

●小林達郎会員

細淵ガバナーようこそお越しくできました。卓話ありがとうございました。

●池田岩夫会員

細淵ガバナー、公式訪問ありがとうございます。小さい世帯ですが心より歓迎申し上げます。

本日の合計	¥23,000
本年の合計	¥109,000

[閉会点鐘]



***** クラブ協議会 *****



開会の辞		
●会長エレクト		石橋 久充会員
●SAA		菅野 秀光会員
●クラブ管理運営		村上 覚会員
・会員増強・退会防止委員会		小林 達郎会員
・親睦活動委員会		村上 覚会員
・出席・奨励委員会		昆 裕司会員
	ガバナー 講評	
●公共イメージ委員会		菅野 秀光会員
●奉仕プロジェクト委員会		石橋 久充会員
・職業奉仕委員会		石橋 久充会員
・社会奉仕委員会		高木 康夫会員
・国際奉仕委員会		金子 卓司会員
	ガバナー 講評	
●青少年奉仕委員会		金子 桐絵会員
・ローターアクト委員会		大橋 秀樹会員
・青少年交換委員会		小島 比ろ子会員
・学友管理委員会		金子 桐絵会員
	ガバナー 講評	
●ロータリー財団委員会		井上 亮会員
●米山記念奨学委員会		中田 盛夫会員
	ガバナー 講評	
	ガバナー補佐所感	
閉会の辞		



10月

例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお願い致します。

クラブ事務所 TEL&Fax 0480-44-0056

公共イメージ委員会

菅野 秀光